



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月14日

上場会社名 株式会社博展 上場取引所 東
 コード番号 2173 URL <https://www.hakuten.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 CEO (氏名) 田口 徳久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 CFO (氏名) 田中 雅樹 TEL 03-6278-0010
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年11月28日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から決算説明の動画配信を予定）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	5,618	46.5	219	—	224	—	151	—
2022年3月期第2四半期	3,833	47.9	△73	—	△7	—	291	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 150百万円 (—%) 2022年3月期第2四半期 291百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	19.60	—
2022年3月期第2四半期	37.26	—

(注) 当第2四半期連結累計期間及び前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	4,017	1,663	41.4	218.45
2022年3月期	4,775	1,744	36.5	222.52

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 1,663百万円 2022年3月期 1,744百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年3月期	—	10.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	17.6	700	31.4	680	9.9	480	△36.9	62.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	8,012,100株	2022年3月期	7,975,100株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	396,782株	2022年3月期	135,182株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	7,710,267株	2022年3月期2Q	7,817,900株

(注) 当社は株式給付信託（J-ESOP）制度を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

2022年11月中旬に決算説明の動画配信を行い、この説明会で使用する資料を当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	8
3. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	3,833	5,618	1,784	46.5
売上総利益 (%)	1,114 (29.1)	1,690 (30.1)	576	51.7
営業利益又は営業損失(△) (%)	△73 (△1.9)	219 (3.9)	293	—
経常利益又は経常損失(△) (%)	△7 (△0.2)	224 (4.0)	232	—
親会社株主に帰属する四半期純利益 (%)	291 (7.6)	151 (2.7)	△140	△48.1

(注) 売上総利益、営業利益又は営業損失、経常利益又は経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純利益の下段に記載している数値は、それぞれ売上高に対する割合を示しております。

当第2四半期連結累計期間における売上高は、56億18百万円(前年同四半期比46.5%増)となりました。また、売上総利益は16億90百万円(前年同四半期比51.7%増)、営業利益は2億19百万円(前年同四半期比2億93百万円増)、経常利益は2億24百万円(前年同四半期比2億32百万円増)、親会社株主に帰属する当四半期純利益は1億51百万円(前年同四半期比48.1%減)となりました。

各商材カテゴリ別の売上高につきましては、次のとおりです。

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
リアルイベント分野	2,074	4,066	1,992	96.1
デジタル分野	701	727	25	3.7
商環境分野	981	736	△244	△24.9
その他	75	86	10	14.2
売上高合計	3,833	5,618	1,784	46.5

リアルイベント分野の売上高は40億66百万円(前年同四半期比96.1%増)となりました。コロナ禍からの回復が顕著となり、主要商材である展示会出展、商談会が大幅に増加したことが主な要因となります。

デジタル分野の売上高は7億27百万円(前年同四半期比3.7%増)となりました。大型のオンラインイベントを複数納品するなど、引き続き好調に推移しております。

商環境分野の売上高は7億36百万円(前年同四半期比24.9%減)となりました。売上高は前年同四半期に比べ減少しましたが、店舗やショールーム等の案件を継続的に納品しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産は、40億17百万円(前連結会計年度末比7億57百万円減)となりました。これは、仕掛品が2億87百万円増加した一方、売掛債権が5億48百万円、現金及び預金が5億5百万円減少したこと等によります。

負債は、23億53百万円(前連結会計年度末比6億76百万円減)となりました。これは、短期借入金が増加した一方、未払法人税等が2億47百万円、買掛金が1億92百万円、賞与引当金が1億26百万円減少したこと等によります。

純資産は、16億63百万円(前連結会計年度末比80百万円減)となりました。これは、当期純利益を計上した一方、信託口による株式取得を自己株式に計上したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、2億90百万円の支出（前年同四半期は4億37百万円の支出）となりました。主な要因としては、事業活動の結果、税金等調整前四半期純利益2億24百万円を計上のほか、売上債権等が5億48百万円減少した一方、棚卸資産に2億87百万円の増加、法人税法等の支払に2億51百万円、仕入債務に1億92百万円の減少等があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、48百万円の支出（前年同四半期は5億70百万円の収入）となりました。主な要因としては、有形固定資産の取得が28百万円、無形固定資産の取得が26百万円あったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億65百万円の支出（前年同四半期は1億30百万円の支出）となりました。主な要因としては、短期借入金で2億70百万円増加した一方、自己株式の取得に1億99百万円、長期借入金の返済に1億55百万円を充てたこと等によるものです。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、10億73百万円（前年同四半期は20億15百万円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が継続するものの、ワクチン接種の普及により状況の維持、または緩やかに好転していくことを前提としております。当第2四半期連結累計期間における業績経過は、計画通りに推移しているため、通期の業績予想につきましては、2022年5月13日の決算発表時に公表いたしました業績予想から変更はありません。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、当社の業績に影響を及ぼす可能性がありますので、業績予想を見直す必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,578,382	1,073,002
受取手形、売掛金及び契約資産	2,203,021	1,654,608
仕掛品	172,373	459,917
原材料及び貯蔵品	1,027	1,154
その他	152,587	187,168
貸倒引当金	△1,727	△1,680
流動資産合計	4,105,665	3,374,171
固定資産		
有形固定資産	329,459	334,802
無形固定資産		
ソフトウェア	42,518	29,960
その他	1,870	38,986
無形固定資産合計	44,389	68,947
投資その他の資産		
投資有価証券	9,464	8,821
繰延税金資産	88,512	32,383
敷金	195,924	195,480
その他	24,099	19,033
貸倒引当金	△22,324	△16,194
投資その他の資産合計	295,676	239,524
固定資産合計	669,525	643,274
資産合計	4,775,191	4,017,445
負債の部		
流動負債		
買掛金	945,795	753,196
短期借入金	500,000	770,000
1年内返済予定の長期借入金	266,944	197,206
リース債務	3,564	6,040
未払法人税等	280,891	33,867
契約負債	166,909	67,937
賞与引当金	169,957	43,260
工事補償引当金	1,131	1,025
その他	409,137	271,224
流動負債合計	2,744,332	2,143,758
固定負債		
長期借入金	272,253	186,555
リース債務	7,229	16,613
退職給付に係る負債	6,824	6,946
固定負債合計	286,307	210,115
負債合計	3,030,640	2,353,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	190,333	205,484
資本剰余金	305,925	321,076
利益剰余金	1,341,442	1,414,177
自己株式	△97,002	△280,574
株主資本合計	1,740,698	1,660,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,852	3,406
その他の包括利益累計額合計	3,852	3,406
純資産合計	1,744,551	1,663,571
負債純資産合計	4,775,191	4,017,445

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	3,833,659	5,618,035
売上原価	2,719,143	3,927,307
売上総利益	1,114,516	1,690,728
販売費及び一般管理費	1,188,265	1,471,336
営業利益又は営業損失(△)	△73,748	219,392
営業外収益		
受取利息	114	67
受取配当金	136	248
貸倒引当金戻入額	6,015	5,793
雇用調整助成金	65,158	—
雑収入	526	3,115
営業外収益合計	71,951	9,224
営業外費用		
支払利息	5,999	2,665
雑損失	42	1,776
営業外費用合計	6,041	4,442
経常利益又は経常損失(△)	△7,838	224,174
特別利益		
固定資産売却益	—	559
関係会社株式売却益	421,011	—
特別利益合計	421,011	559
特別損失		
固定資産除却損	170	0
特別損失合計	170	0
税金等調整前四半期純利益	413,002	224,733
法人税、住民税及び事業税	49,629	17,273
法人税等調整額	72,082	56,325
法人税等合計	121,712	73,599
四半期純利益	291,289	151,134
親会社株主に帰属する四半期純利益	291,289	151,134

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	291,289	151,134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	274	△445
その他の包括利益合計	274	△445
四半期包括利益	291,563	150,688
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	291,563	150,688

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	413,002	224,733
減価償却費	43,368	44,900
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,823	△6,176
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15,087	△126,696
工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△3,446	△105
雇用調整助成金	△65,158	—
のれん償却額	6,158	—
受取利息及び受取配当金	△251	△315
固定資産売却損益 (△は益)	—	△559
固定資産除却損	170	0
関係会社株式売却損益 (△は益)	△421,011	—
支払利息	5,999	2,665
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△634,966	548,413
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△63,865	△287,670
仕入債務の増減額 (△は減少)	172,407	△192,599
未払金の増減額 (△は減少)	△29,854	△9,030
前払費用の増減額 (△は増加)	△5,993	△21,364
未払費用の増減額 (△は減少)	83,841	△9,458
契約負債の増減額 (△は減少)	194,936	△98,972
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△129,770	△123,051
その他	31,392	18,508
小計	△423,950	△36,779
利息及び配当金の受取額	251	315
利息の支払額	△6,004	△2,686
雇用調整助成金の受取額	65,158	—
法人税等の支払額	△83,060	△251,824
法人税等の還付額	10,252	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△437,353	△290,975
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,681	△28,203
有形固定資産の売却による収入	—	645
無形固定資産の取得による支出	△12,556	△26,970
敷金及び保証金の差入による支出	—	△278
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	527,412	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	58,739	—
その他	6,099	6,099
投資活動によるキャッシュ・フロー	570,015	△48,706
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	270,000
長期借入金の返済による支出	△128,947	△155,436
リース債務の返済による支出	△1,670	△2,340
自己株式の取得による支出	—	△199,594
配当金の支払額	△24	△78,326
財務活動によるキャッシュ・フロー	△130,641	△165,697
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,020	△505,379
現金及び現金同等物の期首残高	2,013,889	1,578,382
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,015,910	1,073,002

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

（ESOP信託を利用した自己株式の取得）

当第2四半期連結累計期間において、株式給付信託（J-ESOP）制度の導入により、みずほ信託銀行株式会社が当社株式を取得したことに伴い、自己株式が183,571千円増加しております。

（取締役及び執行役員への譲渡制限付株式報酬の付与）

2022年7月19日付で特定譲渡制限付株式報酬としての新株式発行により37,000株（発行価額30,303千円）増加しております。これにより、資本金が15,151千円、資本準備金が15,151千円増加しております。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループは、「エクスペリエンス・マーケティング事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて）

当第2四半期連結会計期間における新型コロナウイルス感染症による当社グループの事業への影響に関する会計上の見積り等に用いた仮定については、前連結会計年度の決算短信の（追加情報）に記載した内容から重要な変更はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当社グループは、企業や団体の広告活動・販促活動に伴う、情報伝達を目的とした各種イベント及びマーケティングツールの企画・制作・運営を主たる業務として行っており、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績の記載はしていません。

② 受注状況

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

前第2四半期連結累計期間の受注状況は次のとおりであります。

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
エクスペリエンス・ マーケティング事業	6,020,666	246.5	4,078,058	119.4
合計	6,020,666	246.5	4,078,058	119.4

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

当第2四半期連結累計期間の受注状況は次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
エクスペリエンス・ マーケティング事業	6,410,125	106.5	4,422,976	108.5
合計	6,410,125	106.5	4,422,976	108.5

③ 販売実績

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

前第2四半期連結累計期間の販売実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	前年同四半期比 (%)
エクスペリエンス・ マーケティング事業(千円)	3,833,659	161.8
合計(千円)	3,833,659	161.8

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

当第2四半期連結累計期間の販売実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	前年同四半期比 (%)
エクスペリエンス・ マーケティング事業(千円)	5,618,035	146.5
合計(千円)	5,618,035	146.5